

大会特別規定・補則（ジャイアンツ CUP 西中国予選）

1. 球場に到着したチームは、速やかに本部にその旨を報告し、メンバー表を受け取ること。
2. ベンチは組み合わせ表の上段（左側）のチームを一塁側とする。
3. グランドインから試合終了まで、監督1名、コーチ2名以下（代表、スコアラーを含む）計4名と登録選手以外はベンチに入ることができない。
4. グランドインしたチームは競技委員の指示のもとに、速やかに試合前の練習を行うこと。グラウンドルールがある場合はそれに従うこと。
5. 原則として、試合前のシートノックは行わないが、行う場合（5分間）は事前にチームへ伝える。
6. 試合をスピーディーに行うため以下の項目を守ること。
 - A 攻守交代時守備に移るチームが速やかにポジションにつくことはもちろんのこと、攻撃に移るチームも第一打者とベースコーチはミーティング（円陣）には加わず、所定の位置に速やかにつくこと。
 - B 投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球し、これを受けた投手は、ただちに投手板を踏んで、投球位置につき、捕手からのサインを受けること。
 - C 打者はみだりにバッターボックスを出ることは許されない。たとえタイムを要求しても審判員がタイムを宣告しないときはインプレイとする。
 - D 次打者は必ずネクスト・バッターサークルに入り待機すること。※各団体の規定で行っても差支えない。
 - E 捕手は、投手に返球したり、野手に声をかけるために、一球ごとにホームプレートの前に出ないこと。
7. コーチボックスには監督、コーチ、選手いずれかが入る。必ずヘルメットを着用すること。（選手は両耳ヘルメットを着用）
8. 規則6.04に規定のとおり、監督、コーチ、選手、代表者、スコアラー、マネージャー等いずれも相手選手を惑わすような行動をとってはならない。
9. 手袋、リストバンド、リストガード、エルボーガード、フットガード、アームスリーブの使用を認める。打者が走者になった場合、これらの着脱のためだけのタイムは認められない。ただし、打者走者が二塁ベースに到着した際に限り、エルボガード及び、フットガードのみ着脱のためのタイムを認める。（速やかにベースコーチがとりにいくこと）
10. サングラスは、防眩のため野手のみ身につけることができる。ただし、ミラーレンズ、ガラスレンズは禁止とする。また首輪（リング）については、ユニフォームの上から見えないように身につけるべきものとし、露見するものは禁止する。
11. 試合中、次の試合のチームはグラウンド内での投球練習は、打球監視員を必ず設置して4回終了以降1組のバッテリーを認める。
12. バットボーイ・ボールボーイ、シートノック補助員はベンチ入りメンバーが務め、両耳ヘルメットを着用する。
※外野のボールボーイは配置しない。
13. 審判の担当については、大会本部により決定する。
14. 試合球については、本大会指定の試合球を使用する。
15. 各球場内の諸行動については、多くの利用制限事項があるため、役員の指示を厳守すること。